

スイートコーンの栽培

JAグループ和歌山農業振興センター 技術参与 本田 孝志

【はじめに】

スイートコーンは中南米原産のイネ科植物で、高温を好みます。近年品種改良が進み、糖度が高く食味の良い種類が多数開発され、直売所などで人気の野菜となっています。

露地栽培では、播種から収穫まで85～90日程度と短く、栽培しやすい品目です。ここではトンネル栽培と露地栽培について簡単に紹介したいと思います。

【作型】

○トンネル栽培

早出しをすることで高価格が期待できます。低温期に苗づくりを行うため発芽時はしっかりと加温するとともに、発芽後も無加温ハウス等で育苗します。定植後もトンネルを行って生育を促進します。品種は「ゴールドラッシュ」など早生種を用います。

○露地栽培

気温が高くなった4月下旬から定植できます。直播も可能ですが、欠株が発生することも多いので、苗を定植する方が良いでしょう。定植時期が早い場合は早生種、遅い場合は中晩生種を栽培します。

【主な品種】

○ゴールドラッシュ

甘くて食味の良い品種で、早生のゴールドラッシュネオや中晩生のゴールドラッシュ90などがあります。トンネルから露地まで様々な作型に対応できます。

○おおももの

その名のとおり大きな実が収穫できます。肥料をしっかりと施用し、肥切れにならないように栽培することがポイントです。

○^{めぐみ}恵味ゴールド

食味が良く大きな実が収穫できます。収穫適期が長く品質低下の少ない品種です。根張りが良く倒伏に強いのも魅力です。

【育苗】

200穴セルトレーに育苗培土を入れ、1穴に1粒播種します。発芽促進のため、低温期は20℃以上に加温します。5～7日で発芽するので、その後は無加温ハウス等で管理します。播種後15～16日で本葉2枚程度の定植苗になります。老化苗は定植後の草丈が低く、実も小さくなってしまいます。

主な作型

作型	2	3	4	5	6	7	8月
トンネル栽培	●	▲	—	■			
露地栽培			●	▲	—	■	

●播種 ▲定植 ■収穫



本葉2枚程度で定植、老化苗に注意！

【本田管理】

○定植

元肥を施用した後、幅1.2m程度の畝を立てます。株間30cmで2条植えにすると、定植株数は10a当たり4,500株程度となります。除草のため、黒マルチ栽培もできますが、その場合は元肥の量を増やしておきます。

定植時期が早い場合はトンネル被覆を行って、生育を促進します。また、気温が高くなってからは直播き栽培もできますが、土壌の乾燥と過湿に注意して、欠株がでないようにします。



スイートコーンの栽培状況

○栽培管理

スイートコーンは生長すると株基から側芽が発生しますが、この芽は除去する必要はありません。また、1本の茎に2個程度の実がなりますが、一番上の大きな実を残して、下の実は除去します。

大きくなると強風で倒伏しやすくなります。このため、追肥を行った後に株元へ土寄せをすると倒伏軽減に役立ちます。さらに、小栽培面積の場合は、高さ1m程度のところにビニールひもを張ると良いでしょう。

また、受粉完了後、先端の雄穂を除去するとアブラムシなどの害虫防除や倒伏軽減につながります。

スイートコーンは吸肥力の強い作物なので肥料切れを起こさないように注意します。本葉5~6枚頃と雄穂出穂期の2回追肥を行うようにします。

施肥の例 (成分 kg)

成分	元肥	追肥1	追肥2	計
N	18	8	8	34
P	18	4	4	26
K	18	8	8	34

【病害虫防除】

病気の発生は比較的少ないですが、害虫には注意が必要です。アワノメイガとアブラムシの防除が重要となります。防除時期は、①雄穂が出たころ、②雌穂の肥大期がポイントとなります。

○アワノメイガ (幼虫が実を食害する)

- ・プレバソンフロアブル5
(2000倍、収穫前日、2回)

- ・フェニックス顆粒水和剤
(2000~4000倍、収穫前日、3回)

○アブラムシ (実が黒くなり品質低下)

- ・モスピラン顆粒水溶剤
(2000~4000倍、収穫前日、3回)

【収穫】

雌穂の絹糸が出てから22~25日程度で収穫可能となりますが、気温や品種により差があります。実の先の絹糸が黒くなり、実の状態を確認し適期収穫に心掛けてください。

○スイートコーンは甘味が強く人気の野菜

○害虫防除の徹底で高品質生産

○適期収穫が美味しさのポイント

